



Merry Christmas!



「声なき者の友」の輪

Friends with the Voiceless International

News Letter

小さな愛の種を蒔こう



からし・ネット公開中!!

<http://www.karashi.net>

世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 35 (2019年12月発行)

「変えてはいけないもの」と「変えなければならないもの」

時代がどんなに変わろうとも「変えてはいけないもの」があります。それと同時に、時代の変化に伴って「変えなければならないもの」もあります。この二つを見分け、適切に対処できるかどうか、組織の命運を決定してしまいます。賢い知恵を与えていただきたいと願われます。 代表カタリスト 神田英輔

Bangladesh ~ 「後発発展途上国」卒業の先を見る国際協力 ~

滞在中の10月、2030年までに雇用を3千万人増やす目標に、「Bangladesh黄金の10年」と財務大臣が名付けたことが地元紙に報道された。国連は、2024年にBangladeshが「後発発展途上国」枠を卒業すると発表している。25年前、「世界で最も貧しい国の一つ」と紹介された国は今、「世界有数の衣料品輸出国」になった。25年前、学校に行ったことがなく自立向上グループで初めて文字を学んだお母さんたちの娘や息子は学校を卒業し、今では縫製工場で働くスキルを身につける。2018年、Bangladeshの24才以下の女性の識字率は94%だ。Bangladeshは、一世代で大きな変貌を遂げたのだ。



昨年後半、田んぼ跡で操業を開始した縫製工場

短期間の社会の激変は何をもたらすのか。このことに目を留めて「声なき者の友」の輪が協力するグループはこの数年、次世代育成に取り組んでいる。激変する社会で、若者たちは新たなアイデンティティを模索する。インターネットで情報も物もすぐに入手できる若者たちは「待つ」ことが苦手だ。一面的に過ぎない過激思想の罠にも陥りやすい。社会の激変は、若者たちに「(過激な)理想」をすぐ実現できるかのような錯覚をもたらしてもする。新たな「声なき者」が生まれる素地が、「後発発展途上国」枠を卒業する国に芽生えている。

これに対する一つの応答が、この地域の「今」を理解するため、民として数百年に及ぶ埋もれた物語の記憶を呼び戻すことにあると現地パートナーは考える。異なる見解の人同士が互いに尊重しあうためには、長く起伏に富んだ歴史の中の真実を拾い出し、「忍耐の意味」を理解することが必要だ、と。近視眼的な見方を脇に置き、変化が起きる背景をみる長期の視点から、いのちを生かす個人の生き方と社会のあり方に近づく過程に着目し、小さな実践を励ます働きだ。先が見えない21世紀、かけがえのないいのちが簡単に失われることがないように「予防としての長期の視点」が「いのちを生かす国際協力」に不可欠だと気づかされる。

インド ～「いのちを貴ぶ文化」の支え手～



貧富が隣り合う都市の日常風景

社会の激変という点で、インドは先を行くと言えるかもしれない。インド独立後 72 年、21 世紀のインド、国を構成する人々をどのような「くくり」で定義するのか、インドの独自性を打ち出すことに国のトップから一般市民まで、敏感なときを迎えている。一方、インドの一面の独自性を押し出すと、多数派の「くくり」に入らない人々は居場所を失いかねない。「西洋との違い、そしてアジアの中のインドの独自性を尊重しながら、すべての人々のいのちを貴ぶ文化を推進するとは何か」が、今までにもまして「声なき者の友」の輪の長年の現地パートナーにとって、重要な課題になっている。

長期的の視点から見れば、国の歴史や社会構造、また国際社会の構造の中に他者や他民族の尊厳を傷つける闇がある。そう批評する私たち一人ひとりの内側をのぞき込めば、同じ闇があることに愕然とする。今のインド社会は、過去、そして現在の世界で生じたことや私たちの内なる課題と連動しているのだ。私たちの闇が浮上し、ある人々が「尊厳を損なわれる」とき、「自分を守ってくれる（と思い込んだ）小さな仲間だけ安泰であればいい」という考えに埋没することは、結局、国全体、さらに世界中の人々にとって、全体の回復に時間がかかる長く険しい茨の道を選んでしまうことになる。

そうした中、この数年インドの協力パートナーたちも、「尊厳の回復」のために数千年の長い歴史の起伏に富んだ事柄から真実を見出し、埋もれた物語を掘り起こす大切さに目を留めている。そこに「いのちを貴ぶ文化」のかけらを見出し、そう生きる決意に立ち返るように励ますのだ。この支え手たちは民を愛し、すべての人に与えられた尊厳を貴び、その回復のために忍耐を持って様々な人々との連帯に地道に取り組む。世界中の人々を生かす「いのちを貴ぶ文化」の支え手たちは、「声なき者の友」による「真の豊かさに通じる国際協力」の意味を教えてくれる。このような協力を応援してくださる日本の皆さまに感謝しつつ。（文責 柳沢）

その他の活動（2019年9月～11月）

バングラデシュ・インド訪問、第 30 回世界食料デー那須野ヶ原大会（栃木県）、万座温泉ホテル・カルチャー講演会（群馬県）、小さないのちを守る会・理事会、戸田福音自由教会、東京武蔵野福音自由教会、青山学院高等部グローバルウィーク・チャペルならびにワークショップ、AG 武蔵野基督教会、同盟・多磨教会・礼拝ならびにワークショップ、東京フリーメソジスト桜ヶ丘キリスト教会・特別伝道礼拝ならびに講演会、日本経営人交友会モーニング塾、立川福音自由教会開拓 30 周年記念集会、ならびにチャリティーゴスペルコンサート（以上東京都）、酒匂キリスト教会・礼拝ならびに講演会（神奈川県）、東奥義塾高校キリスト教教育強調週間、弘前のぞみ教会、弘前学院大学キリスト教社会福祉論、弘前学院大学秋の特別礼拝（以上青森県）、上小阿仁中学、緑の牧場教会・大館チャペル（以上秋田県）、津田キリスト教会（香川）、久米めぐみチャペル・伝道集会、那覇バプテスト教会・礼拝ならびに特別伝道集会（沖縄県）、において F V I カタリストがセミナー、講演会などを通してカタリスト（触媒）としての奉仕させていただきました。各地で隣人を愛する化学反応が起こることを祈りつつ、共に労して下さった皆様に心より感謝いたします。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「F V I」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱東京 U F J 銀行の口座もご利用いただけますので、ご希望される方はお問い合わせください。

* このレターは、希望された方に郵送させていただいています。送付先の変更、差し止めなどは、事務局にお知らせください。

* 国内のカタリストを支援する場合、カタリスト名を、海外の活動を応援する場合、国名などを通信欄にご明記ください。

● 「声なき者の友」の輪 事務局 email:info@karashi.net 090-3036-2776（神田）